

2018年5月19日

鐸木昌之

1. はじめに

「首領の領導芸術」

X先生「金正恩は、戦争も辞さない狂気をもった人間だと思わせておいて、突然180度方向を変えて平和を実現したいと一歩出てきたとしたら、どうなるのか。世界はその深遠な戦略の渦に巻き込まれていくだろう」(NHKスペシャル「金正恩の野望」第1集)

2017年

ミサイル実験の連続、核実験

11月 核戦力完成宣言

2018年

1月1日 新年の辞

金正恩「国家核戦力完成の歴史的大業」「核のボタンは私の事務室の机の上」

2月 平昌冬季オリンピック参加

妹金与正党中央第一副部長の国際舞台に登場

女性応援団

3月 米朝首脳会談を韓国を通じて提案

3月25日 金正恩、北京を列車で訪問

4月20日 核実験場閉鎖とミサイル実験の凍結

4月27日 南北首脳会談 金正恩の初登場

5月8日 大連で習近平・金正恩会談(飛行機)「段階的で歩調を合わせた措置」

5月16日 南北閣僚級会談延期、米朝頂上会談中止を示唆

金桂寛第一外務次官、頂上会談再考慮、リビアやイラクの瓦解を再現させようとしているとボルトンを名指しで非難

5月23日～25日 プンゲリ核実験場閉鎖 各国記者団を招待

6月12日 トランプ・金正恩会談

2. 戦略的転換か？

① 戦略的転換論 磯崎慶応大学准教授

4月20日党中央委員会全員会議「経済建設と各武力建設の並進路線の偉大な勝利を宣布することについて」

- ① 核武装の兵器化実現
- ② 核実験と ICBM 試射の中止、核実験場の廃棄
- ③ 核実験の全面中止のための国際的志向に合流
- ④ 核の威嚇がない限り、核の不使用と核兵器と核技術の移転をしない。
- ⑤ 社会主義経済建設のために有利な国際環境整える

経済建設重視路線に転換

核放棄の可能性？

② 戦略的転換に懐疑的、今までの路線を変更していない。

米国の専門家・対北交渉経験者、北から亡命専門家、懐疑的
過去5回の失敗

ヒル「リストを提供しない」

板門店宣言は「朝鮮半島非核化を目標」

太英浩元駐英公使 北が CVID を受諾する可能性は低い。

- ❶ 朝鮮半島で米国の核兵器を撤収させる。 実現
- ❷ 米国が朝鮮半島とその周辺に核兵器と戦略資産を展開したり、搬入できないようにさせる。
- ❸ 朝鮮半島で核兵器を使用しないという「核不使用宣言」を米に要求し、貫徹する。

米の要求

PVID (CVID) WMD (大量殺傷兵器) の恒久的かつ完全かつ不可逆的廃棄と検証
拉致された人々の解放

制裁と圧迫の維持

スピードと期限 諜報機関

2017年5月 CIA に朝鮮ミッションセンター (現在、700名以上)

2018年3月 ティラーソン国務長官更迭

3. 3つのシナリオ

鈴置高史（日経新聞）説

- ① 米、リビア方式の非核化を要求→北、受諾→査察の開始
- ② 米、リビア方式の非核化を要求→北、拒否→米朝対話継続
- ③ 同上 →米、軍事行動ないし経済・軍事的圧迫強化

- ① 戦略的転換シナリオ PVID の実現 問題発生
- ② 決裂 制裁と圧迫強化 武力攻撃の可能性
- ③ 米の要求受け入れ・WMD（核、生物化学兵器）の移送とリストの提供・検証
で問題
時間稼ぎと核保有国として承認（北の意図） 「時間」の問題→米、武力攻撃
- ④ X

4. 体制の問題 特異なシステム

首領 絶対的権威と権力を持つ、完璧な存在、北朝鮮国家と民族を革命に領導する存在
体制を護持するシステム

体制の護持とは何か？

ポンペオ “We will have to provide security assurances to be sure”

人民、幹部、高級幹部の忠誠を獲得できるのか。

洗脳体系（宣伝扇動体系）崩壊と市場の形成 「黄金万能主義」

監視システムの弱体化と連座制の継続 腐敗

首領＝核、首領の愛と忠誠関係（高級幹部、幹部への贈り物と忠誠の交換）

- ① 権力組織 圧迫

護衛司令部

側近護衛部隊

+ α 部隊

人民保安省 内務軍

朝鮮人民軍

- ② 資金 = 外貨 制裁

第二経済委員会 軍需工業 核兵器とミサイルの生産

99 指導総局

党中央 39 号室

③ 党組織と監視

④ 市場経済 1995 から 2005 年の「苦難の行軍」

北朝鮮は、社会主義システムか？ 党の支配という意味では社会主義体制

第一経済 社会主義計画経済

第二経済 軍需経済

第三経済 首領の経済（宮廷経済）

市場経済の拡大 物資の 90% 中国からの輸入、中国元とドルの流通、金主（新興富裕層）
は 90% が華僑（流通を支配）

5. おわりに

① 米の要求通りに WMD 放棄した場合（無条件降伏した場合）、指導層は納得するの
か？

路線対立は起きないのか？

安全保障の問題に直結

中国は核の傘を提供できるのか？ 米国は、安全保障を提供できるのか？

それを指導層が信用するのか？

正統性の問題に結びつく＝過去の洗脳と反する。

② 経済改革（改革と開放）はできるのか？

39 号室を解体できるのか？

幹部への贈り物なしに忠誠を獲得できるのか？

意思があっても、過程で間違えると体制瓦解の可能性

ベトナム、中国との大きな違い。

中国依存経済から脱出できるのか？

東北第四省から脱出して、「自立的」北朝鮮経済を作れるのか？

通貨、物資（食糧を含む）、流通の依存

③ 情報の流入に耐えられるのか？

韓国からのドラマ、歌、その他の情報流入

＝北の正統性・システムを崩していく。

金正恩による最期の「賭け」？ 核と資金＝体制維持の源泉